

10月秋空の下、南城市百名にある『受水走水』に行ってきました。

国道331を南下し新原ビーチに向けて海側へ下り、新原ビーチ通過し北上した場所にあります。10月でもやや汗ばむ天気ですが平日のせいかビーチには人影はまばらでした。



受水走水入り口の案内柱あり



現地説明版

『受水走水』は沖縄の稲作発祥の地として伝えられアマミキヨがニライカナイから稲持ってきたと言われておるようです。この地は東廻いの拝所として霊域になっており、旧正月には田植えの行事「親田御願」がおこなわれている。



地下水がわき出ている状況



湧き水の近くに石碑

現地は南部特有の琉球石灰岩地形で急峻なガケから地下水が湧き水のようにあふれ出しております。



周辺の田畑の風景

当日はたまたま、御願をする方に遭遇し、やはり霊域なんだなーと実感させられました。現地は写真のとおり、のどかな田園風景が広がる静かなところですよ。みなさんも当地を訪れるときは騒がずに静かに見学しましょう。現地はゴミなども落ちていないのでゴミをおとさないようにしましょう。

周辺情報

所在地:南城市新原

駐車場:あり(有料駐車)

トイレ:なし

【属性情報】:日帰り家族向け、ドライブ・景観

【関連団体】:未確認

